

2006.8.5 協力会社様「感謝の集い」開催される！



栃木市サンルートプラザ栃木において「感謝の集い」開催。

満川元久（社）県建設設計事務所協力会副会長

佐治則昭同協力会耐震診断業務委員長

園田昌志清水建設（株）関東支店群馬営業所副所長

塚田則隆栃木市市民生活部市民生活課主事ら

来賓のほか、同社の協力会社関係者など約80人が出席。

同社への日頃の協力を謝意を示すとともに、今後の更なる結束強化を誓い合った。

冒頭、荒金代表取締役は「創業30年で95%の企業が消えていくと言われている中で

私どもの会社は昨年31周年（満1歳）を迎える事が出来ました。

これもひとえに皆様の長きに渡るご支援ご協力のたまものです。

今後さらに前進を続けるべく、社員一丸となって、栃木市に本社を置く企業として

恥ずかしくない環境を作って行きたい。今日は時間の許す限り、ゆっくりとご歓談頂きたい」とあいさつ。

来賓からは、満川権建築設計事務所協会副会長様から

「私どもの協会では、現在までに580棟の耐震診断の実績を積み上げて、成果品は栃木方式として高い評価 信頼を受けている。

これら診断の初期調査の大半は栃木アンカー工業（株）にお願いしており、高度な専門知識 卓越した技術力 迅速な調査で毎回素晴らしい成果品が上がってくる。

今後も変わらぬ支援 協力をお願いする」と祝辞を述べられた。

平成18年8月8日「日本工業経済新聞」記事より抜粋

2006.4.6 平成18年度 社員研修旅行 は日本の南国「沖縄」でした！



我が栃木アンカー工業株の社員研修旅行は毎回 。
北は北海道～関東6箇所の社員が（ごちゃまぜの）グループに分かれて、
どの営業所 部署が会社を留守にする事がないように、日数も数回に分けて行われ
ます。

そんな訳で！4月6日から6月13日の約2ヶ月間に渡り
今回の社員研修旅行は「第7班」参加人数70名！無事に執り行われました。

何も起こらないはずがない！栃木アンカー工業株の社員研修旅行！！

今回は・・・急遽の「特別企画」が発生致しました！

それは・・・

2006年3月23日に栃木市長 日向野義幸様より「MOKU」と言う雑誌を頂きました。
表紙に「特集：開いて生きる」日向野市長様の力強く腕組みした凛々しいお写真！
「はっきり言って国は当てにならない」台風市長のまるごと構造改革との記事が
掲載されているモノでした。

それを読ませて頂き、荒金なりに感ずる所がありました。
当社総務の社員に見せたところ「私達にも何か出来る事ありませんか？」
との相談をもらい「それは募金がいいのかもしれない！」と総務社員へ提案し
話をしたところ、今回の社員研修旅行の際、（4月6日の出発から6月11日の
最終班までの7組）羽田から飛行機に乗る前に社員1人1人へ「MOKU」を手渡し
ました。

沖縄到着後のパーティーにて社員達の応援コメントと
少しずつではありますが、社員の気持ちの募金を預かりました。

今回急遽の企画ではありましたが
それは我が社の「目の前の事に真面目に取り組む力」が働き

様々な応援コメントが集まりました。

1人1人の力は微々たるモノかもしれませんが
栃木市に本社を置かせて頂いている企業として恥じない生き方を
して参りたいと思っております。

いち社会人として「社会に対して責任を担っている」事の重さと
1つの事を皆で考えて行動をし、一丸となる大切さを、
若い社員達にも学ばせる事が出来た、よい機会を与えて頂いたと思っております。

無事研修旅行も終わり、社員の達の写真と応援コメント、
そして集められた募金を後日、日向野市長様へお届け致しました。

一部コメントを掲載致します。

「民間と行政が共に市政を改革出来るように応援させてもらいます」小木田勝美
「栃木市民の立場から行政に期待しています。頑張ってください」沢野正巳
「国が弱者に目を向けなくなった今、
弱者に目を向けた改革を推進している事に感動致しました」野尻薫子
「市民第一主義」の改革を応援致します」河野二三男